

政務調査費の『使途基準』の見直しを!!

監査委員は「使途基準違反の可能性」を指摘

政務調査費を透明にする会が、市議10名分、計約219万円の政務調査費の返還を求め、監査結果が1月21日出されました。事務的な計上ミスその他、下表のように、10名の市議は、監査結果が出る前に、計88万6千円を返還。訴えは棄却されたものの、市議4名が自主返還した6万505円については、「返還しなければ使途基準に違反した可能性が高い」と判断。また、くまもと未来が10年度の政務調査費で支出予定のマニフェスト委託料議員個々の自己紹介分8万2983円は、「使途基準に違反する」と結論づけました。「棄却」されたものの、女性たちの『市民目線』でのチェックが大きな成果を生みました。1月25日の議会運営委員会で、益田牧子議員は、監査結果を受け止め、『基準の見直し』を求めました。

2009年度熊本市議政務調査費監査結果

議員名	使途	金額(円)	監査結果コメント
田尻清輝市議 (くまもと未来)	市政報告会会場費、 万年筆修理代	会場 100,000 修理 5880	コメントなし (監査結果が出る前に自主返還)
くまもと未来全 市議 10名	マニフェスト委託 料	82,983	議員個々の自己紹介など10ページ 分は政務調査として認められない。
田中誠一市議 (くまもと未来)	市政報告会会場費3 回分	30,000	社会通念上ふさわしくない場所
藤山英美市議 (くまもと未来)	高校同窓会へのリン ク料	20,000	市政の調査研究との関連性見出し難 い
下川寛市議 (くまもと未来)	録音・録画機能付き 腕時計	9,505	市政調査に購入する合理性、必要性 認めにくい
日和田よしこ市 議 (公明党)	ポンペイ展入場料	1,100	出張記録書中に記録はなく、政務調 査の関連性を認められない

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 741

2011年1月30日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

市民連 11年度予算要求：2月8日、午前9時～正午

場所は市役所駐輪場8回会議室です。どうぞご参加下さい!!

第1回定例議会開催(2月25日～3月16日)

日本共産党市議団は、益田牧子議員が一般質問を行います(3月3日午前10時～)

*厳しい経済状況の中でのくらし・福祉を守る提言を行う予定です。

市民の皆さんのご意見をどうぞお寄せ下さい。

(議会日程)

議会開会：2月25日、午前10時～

一般質問(7名)：2月28日、3月2日、3月3日、3月4日

予算決算委員会(総括質疑)：3月7日

予算決算委員会、部門別常任委員会：3月9日～

予算決算委員会(締めくくり総括質疑、表決)：3月15日

議会閉会(委員長報告、質疑、討論、表決、閉会)：3月16日

*請願の提出は、2月25日午後5時までです。尚、陳情については、2月28日まで、遅くとも3月3日まで。

【控え室から】
春を呼ぶ
上野 みえこ

凍るような毎日が続いています。小寒から節分まで、この時期が一年で一番寒い季節です。朝晩の冷え込みに、庭の草木は、霜にあたり傷んでいます。新しい芽が吹いてくるまで、枯れた葉をうなだれているのでしょうか。待ち遠しい春です。寒い中、市議会の控え室には相談の方が絶えません。生活困窮、国民健康保険が払えない、保育所に入れない、仕事がない……、内容はさまざまですが、それぞれに切羽詰って駆け込んでこられます。「車で生活していた人に生活保護が下りました。もうすぐ屋根の下で眠ることができません。」という報告には、ホッとしました。格差の広がる社会の中で、市民生活は厳しさを増しています。始まった国会では、政権党が消費税増税やTPP参加を旗幟鮮明にしています。国民の暮らしは、ますます追い詰められていくのではないのでしょうか。市民アンケートでは、「医療福祉の充実した政令市」というのがトップです。いのち・暮らし最優先の政治に、春を呼ぶ、日本共産党の出番です。

大型公共事業（ムダ使い）ウォッチング 莫大な支出を見直せば 暮らしの財源生み出せます

市民団体などで行く熊本市民連は1月19日、熊本市内にある熊本県や市による大型公共事業施設などの視察を行いました。3月のオープンに向け工事が進められている大型観光施設城彩苑や駅前東

A地区の再開発ビル、県によって建設・運営されている熊本港などを見学した参加者からは、「莫大な支出をとまなう事業が今、本当に必要なのか疑問を感じる」「大変な暮らしに税金を使ってほしい」との声が寄せられました。

地上100mを超える駅前マンション建設への税金投入に疑問の声



市民の願いに背き廃止となった産院跡地からみた駅前再開発ビル

駅前東 A 地区では再開発ビルの建設がすすんでいます。図書館やマンションなどが建設され、事業総額は200億円を超えます。事業を請け負ったのは県外大手の業者です。

視察に参加した建設労働者からは、下請けで働く労働者の日当は5000円～7000円と大変低い賃金であることなども紹介されました。民間のマンションも空室が目立つ現在、市の事業として進める必要があったのか参加者からは疑問の声が出されました。

今後の投資に疑問の声。地盤沈下で利活用不安の声も…。

熊本県によって管理・運営がなされている熊本港。見学した時には、船の姿もなく、釣りを楽しむ釣り人の姿が目立ちました。

企業の進出を目的に埋め立てられた広大な敷地は半分程度しか埋まっていません。今後さらに2次、3次の埋め立てが進められるとの説明も受けました。

また、場所によっては30センチほど地盤が沈下しており、今後の利活用への懸念の声も出されました。

地盤沈下により30cmの段差が生じていました



**公共施設や生活道路の整備・改修、リフォーム助成制度など
生活密着型の事業こそ地元業者の仕事につながります**

熊本城「桜の馬場 城彩苑」47億円の投資 中心市街地との「回遊性」が課題

3月5日のオープンに向け、熊本場内に「桜の馬場 城彩苑」がいよいよ完成です。（場内プール跡地）

総合観光案内所・多目的交流施設・歴史文化体験施設・飲食物販施設によって構成されています。

【歴史文化体験施設】

最新鋭の映像や大型紙芝居などによって熊本城と城下町熊本の魅力を紹介するコーナーや、歴史ハイライトドラマを楽しむコーナーがあります。

【飲食物販施設】

県下の特徴のある23店舗が勢ぞろいし、熊本の味と土産物を販売します。

飲食：7店、土産物：16店



中心市街地の賑わいに つなげることが課題

90分・120分などの観光コースが紹介されている熊本城観光と、「城彩苑」での歴史体験や買い物・食事等を考えると、熊本城観光に訪れた人が中心市街地の賑わいにつながっていくのか、疑問であり、今後の課題です。

毎年、約2億3000万円を 20年間払い続けます

PFIによって整備した歴史文化体験施設等の整備費・管理運営費総額約47億円は、毎年・約2億3000万円ずつ、20年間払い続けることとなります。この他、土地代は、